

あおい通信 第167号

新日本八景

室戸岬

新日本八景めぐり



日本三景、新日本三景と紹介してきましたが新日本八景をご存知でしょうか。人生経験豊富な皆様には観光で行かれています場所でしょうか、改めまして、何故選定されたのか、etc.を知るのも一興かと思ひ：お楽しみ頂けましたら幸いです。
(八景は最後に記述)
室戸岬(むろとみさき)は、高知県室戸市に属し、太平洋に面する岬。1928年、

国の名勝、および室戸阿南海岸国定公園に指定されている。サーフィンの名所でもある。

安芸山地が太平洋に落ち込む南端。太平洋に大きく突き出し、紀伊水道と土佐湾を分ける。泥岩・砂岩・斑れい岩により、海岸段丘や岩礁、奇岩が形成されている。冬でも温暖で、亜熱帯植物が繁茂する。室戸岬灯台が立つ。1899年(明治32年)初点灯で海拔154.7m、実効光度と光達距離で日本一を誇る。「日本の灯台50選」の一つで、歴史的価値から保存灯台とされている。黒潮の流れる沖合いは台風銀座でもあり、室戸

東西南北

北沖M7級「確率90%」
政府の地震調査研究推進本部は26日、青森県東方沖から房総沖にかけての日本海溝沿いで、今後30年以内に地震が発生する確率を公表した。宮城県沖などでマグニチュードM7級の地震発生確率は90%で、東日本大震災より小規模でも被害が出る恐れのある地震には、引き続き注意が必要としている。

東日本大震災のように岩手県沖南部から茨城県沖まで連動するような超巨大地震(M9級)は直近の発生から8年しか経過していないため、確率はほぼ0%。大きな揺れを伴わずに津波が発生する明治三陸地震(1896年)のように「津波地震」の規模は最大で確率は30%とした。

一方、M7級の地震は「青森県東方沖及び岩手県沖北部」90%以上、「宮城県沖」は90%、茨城県沖は80%など、広い範囲で高い値になっている。「宮城県沖」のうち、陸の近くで起こる地震は50%とした。この領域は前回「不明」としたが、地殻変動の観測結果など

から、次の地震発生サイクルに入ったと判断した。M7級の地震では、過去に観測された津波は高さ数十センチ程度が多い。M9級(10メートル超)M8級(数メートル)に比べて小さいが、波打ち際でさらわれる危険がある。

1978年の宮城県沖地震(M7.4)では、ブロック崩壊などで28人が死亡し、安全基準が見直されるきっかけとなった。地震本部地震調査研究委員会の平田直委員長は「東北の太平洋沿岸でM8、7クラスの確率は高い。津波や強い揺れに備えることが必要」と話している。

Kドラゴン

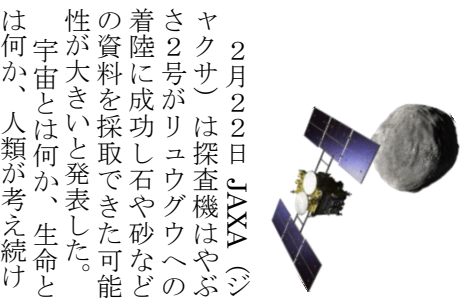
は強風で知られる。1934年(昭和9年)の室戸台風や1961年昭和36年の第2室戸台風では台風が付近に上陸し、その名を残すこととなった。

1927年(昭和2年)に、大阪毎日新聞社、東京日日新聞社主催、鉄道省後援で、一般からの投票をもとに、最終的に当時の名士により審査選定された。山岳、渓谷、瀑布、温泉、湖沼、河川、海岸、平原の8部門について、まず一般からの葉書投票を募り、各部門の投票数10位までが候補地として選抜された。選定された景勝地には、著名な文人と画家が訪れ、その紀行文が新聞紙上に掲載された。ちょうど一般の国民が観光に目を向け

るようになった時期に行われた日本新八景の選定は、広く国民の関心を集め、投票総数は当時の日本の総人口の1.5倍にもなる約9300万通に及んだ。

談話室

はやぶさ2号小惑星リユウグウへの着陸成功



2月22日 JAXA(ジヤクサ)は探査機はやぶさ2号がリユウグウへの着陸に成功し石や砂などの資料を採取できた可能性が大きいと発表した。宇宙とは何か、生命とは何か、人類が考え続け

る間である。その解明が夢なら、探査機が持ち帰る試料が、その一歩を記すだろう。リユウグウには太陽系が誕生した46億年前の痕跡がそのまま残されているといわれ、持ち帰る「玉手箱」を開ける時が既に待ち遠しい。リユウグウは地球に近づく軌道を持った小惑星のひとつで、大きさははやぶさが調査したイトカワの5335mの約2倍程の900mとされている。因みに、東京タワーが333mだから、リユウグウは東京タワーの約3倍弱という事になる。

新日本八景
八景勝地と掲載紀行文
海岸・室戸岬(高知県) 田山花袋
湖沼・十和田湖(青森県・秋田県) 泉鏡花
山岳・温泉岳(雲仙岳)(長崎県) 菊池幽芳
河川・木曾川(愛知県) 北原白秋
渓谷・上高地(長野県) 吉田絃二郎
瀑布・華厳滝(栃木県) 幸田露伴
温泉・別府温泉(大分県) 高浜虚子
平原・狩勝峠(北海道) 河東碧梧桐

はやぶさ2号は地球に近づく軌道を持った小惑星のひとつで、大きさははやぶさが調査したイトカワの5335mの約2倍程の900mとされている。因みに、東京タワーが333mだから、リユウグウは東京タワーの約3倍弱という事になる。

◆編集委員会より
「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島

葵友の会 広報コーナー

3月の報告
13日(水) 総会「木曾路」にて。十七名の参加。



4月の予定
19日(金)カラオケ
21日(日) 役員会
15日(金)カラオケ。8名の参加。
本年度もよろしくお願い致します。(事務局)

利用者さんの 綴り「一」

竹中 ミヤ(土)

麻雀をやる人達と知り合い、やり始めました。葵でもやらせてもらっています。マシンもできる限りやります。足をしっかりとっていきたくいです。



久村 和子(木)

手芸でいろいろ作ることが好きです。洋裁も時間がとれなかったのですが、また始めたいです。木曜日は手芸の仲間がいるので、楽しいです。



季節の野菜 キッチン 川俣孝子

近頃季節の野菜って何かなと想う事があります。一昔前は、きゅうり、なす、トマト、かぼちゃ等は夏野菜と言っていました。が、昨今では一年中店先に並んでいて季節感が失われ、季節野菜、旬の野菜が少なくなりました。夏のような気がしません。夏の暑い日、裏の庭へなす、きゅうり、絹さや等を取りに行った事を思い

今上天皇の逸話

図斉しげ子

今上天皇の逸話・和む

エピソードより 抜粋



幼少期

豆腐料理を好物とした。慣例に従い、女兒に近い格好で育てられていたが、学習院初等科入学に際し、おかつぱに伸ばしていた髪を無断で刈られ数日間

幼少期

塞ぎ込んだ。その後「こ黙ってこんなことはしないでね」と抗議した。学習院初等科時代に、色黒だったことから蚊取り線香の素焼きの香炉を想い起こさせた為の「チャップ」と学友たちによってつけられた愛称が伝わる。学生時代(銀座事件) 学習院高等科3年の試験終了日、学友である橋本明(龍太郎の従兄)に「銀座にいきたくない」と相談し、学友が「いつがよいか?」と尋ねると「今日が良い」と答えた。「二人ではなくもう一人連れていこう」と提案し承諾(もう一人は千家宗彦) 新任だった

出しました。夏野菜は体を冷やし、冬野菜は体を温める理に叶っています。葵のキッチンでは大泉の農協から新鮮な季節の野菜を仕入れていきます。甘味とえぐみが何とも言えない、これから出るだけのこの飯も楽しみのひとつです。美味しかったわとおっしゃって頂く一言に励まされてキッチン一同頑張っています。



認知症

前号のつづき
厚生労働省は12年、認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)を策定

し、住み慣れた地域で暮らし続けられる体制づくりを目指している。計画の目玉は、発症初期から本人や家族を支える「初期集中支援チーム」だ。15年度以降導入された。保健師や作業療法士が発症初期の高齢者を訪問し、本人や家族の相談に応じ、生活環境を整える。このほか早期診断を行う医療機関の整備、認知症の人の居場所づくりも目指す。

認知症施策は、介護や医療にとどまらないため、2019年9月には、警察庁や消費者庁など11省庁による連絡会議が設置され総合的な施策の推進にのりだしている。

つづく 編集長



東宮侍従浜尾実など仕えている周りの人間を「今宵、殿下を目白の方にご案内したい」など騙して抜け出すことに成功し、「殿下が電車に乗りたい」と云われたので、3人で切符を買い改札。御自分で切つてもらい、山手線内回りで新橋へ。車内は少し混んでいたが、殿下は扉のそばの柱につかまり、ニコニコと、とても嬉しそうであった。

後洋菓子屋「コロバン」でアップルパイと紅茶を満喫しようだが、当然ながらすぐに事件は発覚。大騒ぎになり、居場所を突き止められると、店の回りに20〜30mおきに警官が配置されてしまいい、これ以上散策が出来なくなり終了した。もちろん連れ出した学友が警察と皇宮関係者にひどく叱られたのは言うまでもない。これが有名な「銀座事件」である。

戦後の混乱期と重なった思春期には、思い悩むことも多く、「世襲はつらいね」、などと漏らしたことを学友が後に明かしている。殿下、これからは美智子妃と、ごゆつくり銀ブラをお楽しみ下さい。

小学生時の思い出

山科 順

小学校一年生の頃だった。家の前に川があり、秋にトンボが沢山川に集まり、竿に鞭(むち)をつけて振り回すと、ヤンマ、アカトンボ、シオカラトンボなど良く捕れた。

くねくね曲がって「太田胃散工場」の裏道に流れていた川の大改修工事が始まった。川の傍にあった我が家も移動する為、土台の下に丸いパイプを数十本入れて家を引き移動されたのが、思い出となった。改修後に非常にすごい大雨の時、道路の真中にあるマンホールの蓋が15〜20cm飛び上がった事も思い出に残った。

春ってどんな色

宇田川勝幸

春のイメージは何色と聞かれるといろいろ考えてしまします。春の歌に出てくる菜の花や桃の花。そして卒業式や入学式の時期に咲く木蓮や辛夷(さざんか)それに染井吉野が思いうかびます。そうした事から春の色は黄色やピンクに緑かと思えます。家の周りを見ると住宅やビルばかりが多く野の花はあまり見ることがありません。けれど少し気をつけてみると、街路樹や道端の片隅に野の花を見る事ができ『小さな春』を感じ、心が暖たかくなつたような気がします。

先月六回目の誕生会をしていただいた、ありがとうございます。最近身の回りの整理を始めつつ、子供達に老い行く姿を見せている。週二回の通所が何よりも嬉しい楽しい、スタッフの方々の並々ならぬ信頼のおかげです。

古今抄(長期利用者様の紹介)

古 今 抄
島山 美佐子
(H25年7月26日から通所)



通いはじめて5年半になりました。週一回ですが体を動かしたり、皆さんと話をしたり楽しんでます。外出も楽しんで、道の駅に行った時にたくさんお野菜を買ったりしました。これからも元気なうちは通い続けようと思えます。

村上 千鶴子
(H25年10月9日から通所)



通所して5年半になります。想い出は毎年行っている花見。楽しくて一番心に残っています。外出も楽しい思い出です。今年も桜を見に行きたいです。

松本 幸子
(H25年9月7日から通所)



葵にお世話になって5年半になります。週二日の通所が待遠しくてなりませんが、行き届いたスタッフの皆様、元氣な仲間の皆さん、部屋に並ぶマシン等、自由に利用できるのも嬉しいです。俳句、パソコン、習字、など、私の生き甲斐です。これからも元気で年を重ねて行きたいと思えます。

縣 百合子
(H25年11月12日から通所)



先月六回目の誕生会をしていただいた、ありがとうございます。最近身の回りの整理を始めつつ、子供達に老い行く姿を見せている。週二回の通所が何よりも嬉しい楽しい、スタッフの方々の並々ならぬ信頼のおかげです。